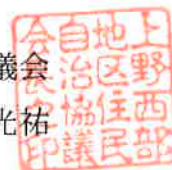


平成28年3月23日

伊賀市議会議長 中岡 久徳 様

上野西部地区住民自治協議会
会長 八尾 光祐



伊賀市上野南部地区住民自治協議会
会長 森田 文彦



東部地域住民自治協議会
会長 服部 明



「市長選挙と市議会議員選挙の同時選挙」

実施に向けての検討を求める要望書

伊賀市は、平成16年11月1日に1市3町2村が合併し誕生いたしました。当時、それぞれの市町村で構成される場において身分等についての協議がなされ、合併と同時に議員選挙を実施する方向で進んでいましたが、合併後の「伊賀市の新年度(平成17年度)の予算」の審査をおこなわなければならないなどの理由で5ヶ月間の議員在任特例を適用したため、5ヶ月という短い期間で市長選挙と市議会議員選挙の二つが実施され、現在も続いています。

前回の市長選挙(平成24年11月)では、約3千7百万円、市議会議員選挙(平成25年3月)では、約8千2百万円の経費が支出されました。

近年、地方公共団体の環境が大きく変化してきており、人口減少社会において行政サービスの持続的な提供が求められているなか、限られた財源で更なる行政改革や経費節減が求められています。

市長選挙と市議会議員選挙を同時に実施することにより、「将来にわたっての経費節減」はもとより「市民の関心を高め、投票率のアップ」などの効果が期待されます。そこで、市長と市議会議員の同時選挙の実施に向けて、議会において十分議論し検討いただきますことを強く要望いたします。